

## 村上市総合計画審議会 議事録

会議名	第9回 村上市総合計画審議会																																																																																																		
年月日	平成28年6月7日(火) 14:00～15:20																																																																																																		
会場	村上市役所 4階 大会議室																																																																																																		
出席者	<p><b>【委員】</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">荒川地区地域審議会</td> <td style="width: 20%;">会長</td> <td style="width: 30%;">会田 健次</td> </tr> <tr> <td>村上市観光協会</td> <td>会長</td> <td>浅野 謙一(欠席)</td> </tr> <tr> <td>一般公募</td> <td></td> <td>板垣 真</td> </tr> <tr> <td>神林地区地域審議会</td> <td>会長</td> <td>大嶋 芳美</td> </tr> <tr> <td>朝日地区地域審議会</td> <td>副会長</td> <td>大滝 重秋</td> </tr> <tr> <td>村上商工会議所</td> <td>副会頭</td> <td>大滝 慎一</td> </tr> <tr> <td>一般社団法人村上市建設業協会</td> <td>会長</td> <td>加藤 幹司(欠席)</td> </tr> <tr> <td>特定非営利活動法人おたすけさんぼく</td> <td>理事長</td> <td>加藤 英人</td> </tr> <tr> <td>新潟県村上地域振興局</td> <td>局長</td> <td>小泉 良彦</td> </tr> <tr> <td>一般公募</td> <td></td> <td>佐久間 成一</td> </tr> <tr> <td>一般社団法人村上市岩船郡医師会</td> <td>会長</td> <td>佐々木 誠司(欠席)</td> </tr> <tr> <td>社会福祉法人村上市社会福祉協議会</td> <td>会長</td> <td>佐藤 芳男</td> </tr> <tr> <td>村上市地域農業活性化検討会</td> <td>座長</td> <td>忠 聡</td> </tr> <tr> <td>山北地区地域審議会</td> <td>会長</td> <td>富樫 保晴(欠席)</td> </tr> <tr> <td>村上公共職業安定所</td> <td>所長</td> <td>長柄 肇</td> </tr> <tr> <td>村上市金融団</td> <td></td> <td>畑山 政浩(欠席)</td> </tr> <tr> <td>村上市岩船郡PTA協議会</td> <td>理事</td> <td>八藤後 瑞枝</td> </tr> <tr> <td>村上地区地域審議会</td> <td>会長</td> <td>山口 治雄</td> </tr> <tr> <td>学校法人北都健勝学園新潟リハビリテーション大学</td> <td>学長</td> <td>山村 千絵</td> </tr> <tr> <td>村上地域水産業再生委員会</td> <td>会長</td> <td>脇坂 三重城</td> </tr> <tr> <td>一般公募</td> <td></td> <td>渡辺 ひろみ(欠席)</td> </tr> <tr> <td>NPO法人希楽々</td> <td>ゼネラルマネージャー・副理事長</td> <td>渡辺 優子</td> </tr> </table> <p><b>【事務局】</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">村上市 政策推進課</td> <td style="width: 20%;">課長</td> <td style="width: 30%;">渡辺 正信</td> </tr> <tr> <td>村上市 政策推進課</td> <td>参事</td> <td>木村 祐二</td> </tr> <tr> <td>村上市 政策推進課</td> <td>課長補佐</td> <td>東海林 豊</td> </tr> <tr> <td>村上市 政策推進課 企画政策室</td> <td>副参事</td> <td>田中 和仁</td> </tr> <tr> <td>村上市 政策推進課 企画政策室</td> <td>係長</td> <td>田村 政和</td> </tr> <tr> <td>村上市 政策推進課 企画政策室</td> <td>主査</td> <td>大矢 透</td> </tr> <tr> <td>村上市 政策推進課 企画政策室</td> <td>主査</td> <td>酒井 智律</td> </tr> <tr> <td>村上市 政策推進課 企画政策室</td> <td>主任</td> <td>石平 悠佳</td> </tr> </table> <p><b>【コンサルタント事業者】</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">エヌシーイー株式会社</td> <td style="width: 30%;">都市環境部</td> <td style="width: 20%;">土橋 佳代</td> </tr> <tr> <td>エヌシーイー株式会社</td> <td>都市環境部</td> <td>中澤 元孝</td> </tr> </table>			荒川地区地域審議会	会長	会田 健次	村上市観光協会	会長	浅野 謙一(欠席)	一般公募		板垣 真	神林地区地域審議会	会長	大嶋 芳美	朝日地区地域審議会	副会長	大滝 重秋	村上商工会議所	副会頭	大滝 慎一	一般社団法人村上市建設業協会	会長	加藤 幹司(欠席)	特定非営利活動法人おたすけさんぼく	理事長	加藤 英人	新潟県村上地域振興局	局長	小泉 良彦	一般公募		佐久間 成一	一般社団法人村上市岩船郡医師会	会長	佐々木 誠司(欠席)	社会福祉法人村上市社会福祉協議会	会長	佐藤 芳男	村上市地域農業活性化検討会	座長	忠 聡	山北地区地域審議会	会長	富樫 保晴(欠席)	村上公共職業安定所	所長	長柄 肇	村上市金融団		畑山 政浩(欠席)	村上市岩船郡PTA協議会	理事	八藤後 瑞枝	村上地区地域審議会	会長	山口 治雄	学校法人北都健勝学園新潟リハビリテーション大学	学長	山村 千絵	村上地域水産業再生委員会	会長	脇坂 三重城	一般公募		渡辺 ひろみ(欠席)	NPO法人希楽々	ゼネラルマネージャー・副理事長	渡辺 優子	村上市 政策推進課	課長	渡辺 正信	村上市 政策推進課	参事	木村 祐二	村上市 政策推進課	課長補佐	東海林 豊	村上市 政策推進課 企画政策室	副参事	田中 和仁	村上市 政策推進課 企画政策室	係長	田村 政和	村上市 政策推進課 企画政策室	主査	大矢 透	村上市 政策推進課 企画政策室	主査	酒井 智律	村上市 政策推進課 企画政策室	主任	石平 悠佳	エヌシーイー株式会社	都市環境部	土橋 佳代	エヌシーイー株式会社	都市環境部	中澤 元孝
荒川地区地域審議会	会長	会田 健次																																																																																																	
村上市観光協会	会長	浅野 謙一(欠席)																																																																																																	
一般公募		板垣 真																																																																																																	
神林地区地域審議会	会長	大嶋 芳美																																																																																																	
朝日地区地域審議会	副会長	大滝 重秋																																																																																																	
村上商工会議所	副会頭	大滝 慎一																																																																																																	
一般社団法人村上市建設業協会	会長	加藤 幹司(欠席)																																																																																																	
特定非営利活動法人おたすけさんぼく	理事長	加藤 英人																																																																																																	
新潟県村上地域振興局	局長	小泉 良彦																																																																																																	
一般公募		佐久間 成一																																																																																																	
一般社団法人村上市岩船郡医師会	会長	佐々木 誠司(欠席)																																																																																																	
社会福祉法人村上市社会福祉協議会	会長	佐藤 芳男																																																																																																	
村上市地域農業活性化検討会	座長	忠 聡																																																																																																	
山北地区地域審議会	会長	富樫 保晴(欠席)																																																																																																	
村上公共職業安定所	所長	長柄 肇																																																																																																	
村上市金融団		畑山 政浩(欠席)																																																																																																	
村上市岩船郡PTA協議会	理事	八藤後 瑞枝																																																																																																	
村上地区地域審議会	会長	山口 治雄																																																																																																	
学校法人北都健勝学園新潟リハビリテーション大学	学長	山村 千絵																																																																																																	
村上地域水産業再生委員会	会長	脇坂 三重城																																																																																																	
一般公募		渡辺 ひろみ(欠席)																																																																																																	
NPO法人希楽々	ゼネラルマネージャー・副理事長	渡辺 優子																																																																																																	
村上市 政策推進課	課長	渡辺 正信																																																																																																	
村上市 政策推進課	参事	木村 祐二																																																																																																	
村上市 政策推進課	課長補佐	東海林 豊																																																																																																	
村上市 政策推進課 企画政策室	副参事	田中 和仁																																																																																																	
村上市 政策推進課 企画政策室	係長	田村 政和																																																																																																	
村上市 政策推進課 企画政策室	主査	大矢 透																																																																																																	
村上市 政策推進課 企画政策室	主査	酒井 智律																																																																																																	
村上市 政策推進課 企画政策室	主任	石平 悠佳																																																																																																	
エヌシーイー株式会社	都市環境部	土橋 佳代																																																																																																	
エヌシーイー株式会社	都市環境部	中澤 元孝																																																																																																	
[進行]事務局	<p><b>1. 開会</b>          〈欠席委員の確認〉          ・浅野委員、加藤幹司委員、佐々木委員、富樫委員、畑山委員、渡辺ひろみ委員の6名が欠席。</p>																																																																																																		

<p>忠会長</p>	<p>2. 会長挨拶 〈あいさつ〉</p> <p>3. 議事 (2) 今後の進め方(参考資料、資料4) ※次第上、議事の2番目の事項であったが、1番目に協議 (事務局が資料を説明)</p> <p>〈質問なし〉</p> <p>(1) 第2次村上市総合計画の基本構想骨子(修正版)について(資料1~3) ※次第上、議事の1番目の事項であったが、2番目に協議 (事務局が資料を説明)</p>
<p>加藤英人委員</p>	<p>この基本目標5番目の「伝統と文化を育む すこやか郷育(きょういく)のまちづくり」は、郷育<small>きょういく</small>とも言えます。地域の子どもは地域のみinnで育てるといふことで、小中学校、各中学校区ごとにコーディネーターをおいて、その人たちがいつでも地域学習やお手伝いをします。保育園や幼稚園なども含めていいと思います。子どもたちの教育という部分が、ちょっと飛んでいるような気がしますがどうでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>本来の「教育」という部分が薄まっているというわけではありません。「郷育」というところに、十分、学力の向上という部分も入ってくると思いますし、何よりも大事な郷土の誇りというものも大事にしたいと思ひまして、このような表現にしたものです。決してここで教育環境やそれらがなおざりになったといふことではありませんし、それを通じて相対的に教育環境を上げていこうといふことも考えていきたいと思ひますので、そのようにご理解いただければと思います。</p>
<p>忠会長</p>	<p>加藤委員、いかがですか。よろしいですか。むしろ、普通の教育環境のほうがいいのではというご意見ですか。</p>
<p>加藤英人委員</p>	<p>いろいろ取組をしているのだけれども、具体的に黒丸の項目として挙がってこないのでは、どうということかと思ひました。</p>
<p>忠会長</p>	<p>それは基本計画をつくる中で位置づけをしていただければと思います。ほかにいかがでしょうか。</p>
<p>渡辺優子委員</p>	<p>同じく基本目標のところでは、このカテゴリー分けは大変素晴らしいと思ひますので、その中で「スポーツ」というワードが何も出てきません。分野別で計画立てたときには、基本目標の「いきいき元気な」というところで、例えば健康寿命の延伸や介護予防といふところでスポーツ等の関わりが出ていたと思ひますし、「伝統文化を育む」といふところでもスポーツの推進が出ていたと思ひます。単なるスポーツといふことではなくて、健康づくりとか、人づくりとか、地域づくりといふ意味で大きく関われる部分だと思ひますので、スポーツというワードを箇条書きの中に入れていただきたいと思います。</p>

事務局	<p>まさに委員のおっしゃるとおりで、決してスポーツを入れなかったわけではありません。渡辺委員の言うようなスポーツの良さに関することについては、私どもも十分認識しております。ただ、ここはあくまでも先ほど言ったとおり例示でありまして、今後、基本計画をつくる中で十分スポーツは多方面に及ぶと思います。それこそ、人材育成や、健康づくりもそうですし、渡辺委員の希楽々（きらら）さんですと、非常に大きい分野で活動されており、決してスポーツにとどまらないところも見られます。そうしたところも各分野に渡る中で、基本計画づくりに入れていきたいと思います。ここはあくまでも分かりやすくする例示でしたので、ご理解いただきたいと思います。これがこの先、ずっと例示のまま残っていくわけではありませんので、そこをご理解いただきたいと思います。</p>
忠会長	<p>いかがでしょうか。よろしいですか。</p> <p>資料3のそれぞれ四角の枠の下にあるところの黒点は、1つの例として挙げているということなので、今、書き替える部分があれば、次回以降、それを加えながら議論するという捉え方をさせていただきたいと思います。よろしく願います。</p>
小泉委員	<p>資料3の箇条書きにするということは非常に分かりやすいのですが、先回の4月のものと見比べると前段に、「本市は」とか、村上固有の状況が数行書いてあります。それもなくなって、この箇条書きになると、これは村上でなくてもこういう問題はみんな同じに見えてくるので、例えば、いろんな項目に関して、村上特有の課題や意見を若干書かれても良いのではないかと思います。その中でこういう課題が出てくるということの方が良いのかなと思います。</p>
忠会長	<p>いかにも、地域以外の方のご意見かなと思います。いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>基本計画、基本構想の中にもこの基本目標の部分が出てきますが、その基本構想を本番の形でご提示する際には、今、委員がおっしゃったような形の表現になっていくと思います。前回出したのは、それをかなり意識しすぎたために、かえって分かりにくくなってしまい、一つ一つのやらなければいけない施策や、事業の部分まで議論が行ってしまったところもあって、資料の作りとして反省しているところです。</p> <p>あくまでも、今後、正式版の案としての基本構想をお示しするときには、委員がおっしゃったとおりに、村上はこういう状況であるものを、こうする方向に持っていきたい、これが目標だという形で表現したいと思います。</p> <p>ただし、前回、板垣委員からもご指摘がありましたとおり、文章があまりにも長すぎると分かりにくくなるのでシンプルな表現に努めたほうが良い、ということでしたので、その点も大事にしたいと思います。</p>
小泉委員	<p>項目でまとめるのは、私たちもよく分かりますけれども、非常に分かりやすいですし、これは賛成です。何か一番上の大事なところが抜けたような感じがします。いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>第1次総合計画もそうですが、第2次総合計画におきましても、策定する上での構成、順番がありまして、一番最初は序論、前書きという部分があります。その前書きの部分では当然、市の課題や市の状況を最初に触れて、第2章の中で基本構想に入っていきます。村上市の大きな部分での課題だったり概要だっ</p>

	<p>たりするのを一番に挙げて構成していき、1番が序論で2番が基本構想で、基本計画という形で進んでいくというものですから、その序論の中で村上市のことを述べていきたいと考えております。よろしくお願いします。</p>
小泉委員	<p>前段でそういうところをお示しするということですね。分かりました。</p>
会田委員	<p>確認させていただきたいのですが、資料3の基本目標が項目ごとに掲げてあります。この中の、基本計画に出てくると思いますが、地元商店街とか商業環境の整備とか、そういったものが載ってきていないのですが、その辺は今後、基本計画のところにこういった方向性などは示されるものでしょうか。そこをお聞かせください。</p>
事務局	<p>基本計画にそういう部分は入ってくると思います。ただ、基本計画についても非常に細かい部分まで書くところまでいきません。5年間の方向性や施策をこうしていきますという部分で表現をしたいと思っております。</p>
忠会長	<p>基本計画で、専門部会、分科会に分かれた中でまたご意見をいただければと思います。山口委員、お願いします。</p>
山口委員	<p>資料3の2段目「ひと、まち、自然…」の例示のところで、「豊かな自然環境」云々となっていて「環境保全活動の推進」はすんなり受け止められます。1つ、間に入っている「自然エネルギー」を後回しにして、2番目に「自然環境や」から始まって「調和する都市の形成を推進」を続けざまに仮に羅列した場合に、都市化の形成を推進していくということと環境保全の推進ということは難題というよりも消化不良を起こすのではないかと考えます。</p> <p>都市化の形成を推進していくよりも、むしろ定住のまちづくりといいたいでしょうか、そういう里のまちづくりをしていくというのだったらなんとなく分かります。重ねて言いますが、私1人だけかもしれないですが、ちょっと説明をお願いします。</p>
事務局	<p>山口委員からご指摘をいただいている先回も同じような説明で、ちょっと山口委員は消化不良で申し訳ないという思いがしています。都市という言葉にコンクリートみたいなイメージをお持ちになっているかもしれません。ですが、交通体系を整備することについても都市の1つでありますし、橋や道路をつくることも都市の1つです。生活環境をよくしていくという上では、どうしても道や何かをつくるにしても、そういう対峙していく部分があります。</p> <p>ただ、ここで強調したのは、調和であるとか、共生という言葉です。やはりどうしても生活の利便性を高めていきたいというのが人間の願いですし、特に村上周辺部になるとバス交通や、そうした要望も非常に高いですし、道も狭いとか、要望として挙げられているので、そうした部分の利便性を高めていくということと自然環境の保全というところで、それぞれを調和させながら自然環境を守っていくという部分と、生活の利便性を上げていくという二面性を両立するというイメージを持っています。</p> <p>そのところを何とかご理解いただきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。</p>
山口委員	<p>お断りしておきますけれども、私がこだわるというよりも、総合計画は一般市民が理解していかないと活きた総合計画になりません。これは全体ですので、一般市民がこれを読んだときにどうイメージして取るのかというところで考え</p>

事務局	<p>ていますので、その辺も理解していただければと思います。</p> <p>この資料3につきましては、会長からもお話があったように例示ということです。この内容が変わっていく可能性は十分にあります。本当に一般の方が見て変だというのは直さなければいけないし、それをこれからやっていきたいと考えております。よろしくお願いします。</p>
忠会長	<p>私からも今の件に関してですが、先ほど小泉委員からもありましたけれども、同じ村上市内でも、やはり地区によって問題が幅広くあるのではないかと思います。そう考えたときに、どうしても一言で言い表し尽くせない部分が生じざるを得ません。例えば、旧村上市街地の真ん中でいう自然環境であったり調和という捉えと、失礼ながら山北や朝日地区の集落に行ったときの調和の捉え方は相当違いがあると思います。</p> <p>そこを、この総合計画でまとめようとするところに、本来の難しさはあると思うのです。すべての市民が全体として広く捉え、自分に当てはめるように状況を捉えていただくことで、この総合計画が活かされるのではないかと思います。山口委員のこだわりを、そういった意味で幅広い意味で捉えて、他の委員もそのように捉えていただくと良いのかなと思います。そんなことで具体的な計画を詰める中でご意見をいただきたいと思います。</p>
山口委員	<p>分かりました。</p>
山村委員	<p>資料1ですが、細かい用語と単語の統一について確認をいただきたいと思います。1番上の将来像というところにある3つの言葉がキーワードになっていると思います。やさしさ、かがやき、笑顔という単語が出てきております。その下の基本理念のところを見ますと、広げる、創る、育むですが、それぞれの説明文の中に「創り」には「輝き」という単語が出てきます。「広げ」のところには「笑顔」が出てきます。「育み」のところを見ますと「やさしさ」ではなく「思いやり」という単語になっているのですが、この辺りを統一していただくとすっきりするなと感じます。</p> <p>同じように、基本理念のところの右上にある「いきいきした地域を広げ、笑顔があふれる」となっていますが、その上のまちづくりの方針の右上のところだと、「いきいき元気な笑顔輝く」と、「笑顔あふれる」のところは「笑顔輝く」となっています。</p> <p>こういったところの用語の統一を確認いただきたいということです。また一番下の基本目標の配置のところ、時計回りで配置されたということですが、ちょっと配置にこだわっているのですけれども、人の視線の動きを考えると、時計回りというよりは、左上、右上、その下という感じに目が動いていくと思うので、そのような形での配置の方が良いのではないかと考えます。</p>
忠会長	<p>これはまた表示の視点ですね。事務局、いかがですか。中段の「育み」の思いやりとやさしさのように、言葉は確かに共通性を持たせた方が良いと思いました。それから下段の目線がどう動くかという話ですが、これはどうですか。他の委員からもこれに対してご意見をいただければと思います。まず、事務局いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>まず配置のことですけれども、山村委員のご指摘で、配置が目線の動きに応じてということであれば、それも一考なのですが、ここの配置にあまりこだわっていません。このイメージ図は最終形ではありません。最終的に形が変わっ</p>

<p>忠会長</p>	<p>でも、分かりやすくスッと入りやすいイメージ図ができれば、基本構想を審議する際に、新しい構想図はこういう形ですとお示したいと思います。</p> <p>今、円の中に置くという意味で上下左右もないということで整理したところもあります。この配置については、また考えたいと思いますし、配置にこだわらないものと考えております。</p> <p>それから、中段の「思いやり」の部分が「やさしさ」という言葉と連携した方が良いのではないかとということですが、皆さんの方で、この「思いやり」を「やさしさ」に置き換えたらいいかなということであれば、それもあると思います。</p> <p>下段の部分については、山村委員の意見があったということで受け止めさせていただきたいと思います。中段はいかがでしょうか。「育む」、「思いやり」と、上段の「やさしさ」を連動させたらどうかというご意見です。皆さん方のご意見がこれによしとなれば、はっきり改めるということにさせていただきますが、どうでしょう。改めさせていただいて良いですか。</p> <p>（「はい」の発言あり）</p> <p>ありがとうございます。それでは、事務局、そのように改めて連携を持たせるようにしていただきたいと思います。</p> <p>他にご意見いかがでしょうか。板垣委員、お願いします。</p>
<p>板垣委員</p>	<p>全体的に、事務局と正副会長で汗をかかれて非常に、前回からすっきりした形で良いものになっているなど、改めて感じたところです。</p> <p>1点、基本理念に関しては、これというものに言及することもなく、悪い言い方をすれば抽象的で良いのかなと思っております。1点、資料2の「いきいきとした地域を広げ」の「広げる」というワードの中の一番下段の「いきいきとした地域を広げ笑顔あふれるまちをつくる」という中で、前回の委員会と一番近いのは、安全に暮らしやすい地域に幸せを広げるという、そこからの変化だったと思います。</p> <p>その中で、災害とか、防災というちょっとイメージ的にあまり載せたくないところを隠したのかなという印象があって、この「安心できる暮らしや元気な地域を築いていくこと」と「市民や地域の安心や健康、元気、幸せが市内に広がっていくこと」というのは、結構、重複している印象があります。この4つの箇条書きをつくったから良いわけですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>前回の資料の中で、やはり安全安心を意識してそういうものを入れたわけです。今回も決して入っていないということではなくて、その安心安全の部分は逆に基本目標のところに整理していくということです。この「いきいきとした地域を広げ」というような「広げる」というテーマにつきましても、各基本目標が6個ありますけれど、その一つ一つの基本目標には3つの基本理念が入っていると考えています。</p> <p>基本理念については、今まで基本目標との結びつきを強めたためにそういうふうにつまみ取られてしまったところがありましたが、今回、会長、副会長と議論する中で基本理念の3つについては、目標のどこを切り取っても基本理念が3つ活きていると考えがまとまってきたところです。そうした意味で、板垣委員がおっしゃった安心安全の部分であると、資料にはあくまでも例示ということで4つ載せたのですが、決して入っていないということではなくて、今後、計画をつくる中で、安全や安心づくりの部分も皆さんに論議していただきたいと思いますので全く書かないということではありません。ご理解いただきたいと思います。</p>

板垣委員	<p>基本目標のところでも定住自立圏を書いていますし、今後の基本計画についても、そういったところがやはり重点的に書かれてくるのだろうと考えています。</p>
加藤英人委員	<p>第1次総合計画の後期計画では定住の里づくりという、「里づくり」だったのですが、「里」が消えて、定住のまちづくりになりました。平成25年から28年の間、定住の里づくりアクションプランということで盛んにやっていたのに、里づくりはどこへ行ったのかという感じにならないですか。</p>
事務局	<p>定住の里づくりは、平成24年に確か策定してやったところですよ。その後に、人口減少チャレンジプラン、それが総合戦略に結びついていくわけですが、定住の里づくりがやろうとしていたことがなくなったと理解していませんし、その理念は、第2次総合計画の方にもつないでいくものだと思っております。</p> <p>ただ、言葉として、定住の里づくりというものを今回、決して採用しないというわけではないのですが、「定住のまち」というところに入れました。確かに里づくりとまちづくりは、表現の違いがあるかもしれませんが、中味については、おろそかにするところはなく、考え方であるとか、施策の一部は十分取り込めると思っております。中味で理解をしていただきたいと思っております。</p>
忠会長	<p>加藤委員、いかがでしょうか。</p> <p>確か、まちづくり条例というものがあります。あれはまちづくりをするものです。それを包含した意味ということの回答ということで捉えていただきたいと思えます。</p>
事務局	<p>今の定住の里づくりは、第1次総合計画の中で最優先された重点戦略です。そのときに戦略プロジェクトもあったのですが、やはり第2次というよりも、村上市での最重要項目は人口減少問題がありまして、その中核プロジェクトとしてあるのが総合戦略になります。この表にあるように、総合計画の中の大きな柱が村上市総合戦略という位置づけですので、第1次総合計画のときの定住の里も当然入っております。そういう意味では、定住のまちづくりとしての総合計画の位置づけは人口減少問題対策としている総合戦略だろうと思っております。</p> <p>ただ、前回の定住の里づくりと定住のまちづくりの違いはどうかと言われるとうまく表現できません。</p>
忠会長	<p>その考え方、精神は、あくまでも引き継がれていると受け止めたいということでもよろしいでしょうかね。ありがとうございます。他にございますか。小泉委員お願いします。</p>
小泉委員	<p>ちょっと細かい話ですが、2番目の定住のまちづくりの一番下に、「日本海沿岸東北自動車道の市内全線開通を見据え」と書いていますが、どちらかというと、これよりも平成30年に予定されている新潟駅の同一ホームの乗り入れの関係です。日沿道の関係ですと、この計画期間の中で、平成33年度までの間ですから、まずできないというのがあります。羽越本線の高速化も平成30年にきますので、むしろそちらの方が市内の交通、ネットワークとか二次交通の整備の充実の上では割と大事なのではないかと思えます。その辺についてどう思われているのかを確認したいと思えます。</p>

忠会長	先に来るものや確実に入るのは、計画に組み込めますね。
事務局	<p>この項目は、特に確定しているという話ではないのですが、今のその表現の仕方をしているのは、みどりの里の拡充構想を考えておまして、それから山北地区のほうの休憩施設も考えています。</p> <p>ここにあるように、高速道路を全線開通するその前提として、朝日まほろばと、朝日のみどりの里、それから山北地区の休憩施設などのネットワークのところを良くしていきましょうという表現の中の形と考えています。全部できてからどうのこうのということではなくて、開通するまでの間に、どの方向性を持ちやっていくべきかということで、みどりの里については、市全体の道の駅という考え方をもちながら進めております。そういう主旨を持ってこのような表現としております。</p>
小泉委員	それはそれで、いわゆるパーキングなどの整備で良いのですけれども、いわゆる非常に観光的に大きいもの、平成30年の新潟駅の同一ホームの乗り入れについては、非常に観光協会も期待しているところが多いので、逆にいうと、その一元化というのですか、その方向性は入れた方が良くないかと思いたいのですが、いかがでしょうか。
事務局	これから優先順位というか、それも含めて入れるものについては入れていきたいと考えております。相談していく中で、新潟駅の高架化については、協議しながら進めていくという形にしたいと思いたいます。よろしくお願ひします。
忠会長	<p>確実に5年以内に効果が見込めるという部分については、計画の中に組み込んでいただきたいと思いたいます。ご意見、ありがとうございます。他にいかがでしょうか。</p> <p>子育て支援とか、こちらは良いですか。特段なければ、今日もいろいろなご意見をいただきましたが、かなり整理されたものを提示させていただいたこともあって、委員の皆さま方からの意見が出尽くしたと思いたいます。</p> <p>それでは、一部修正がありましたけれども、今日示された修正案をもって、本委員会として了承したということで締めさせていただきますが、いかがでしょうか。</p> <p>(「異議なし」の発言あり)</p> <p>それでは異議なしと認めまして修正案を審議いただきました。ありがとうございます。議事はこれにて終了いたします。</p> <p><b>4. 次回審議会について</b></p>
忠会長	次第の4番目になりますけれども、次回の審議会についてです。事務局より説明をお願いします。
事務局	それでは次回の審議会ですが進捗を、今日戻ってもう一度確認しながら、策定を進めたいと思いたいます。現在考えているのが7月中旬以降です。申し訳ありませんけれども、会長、副会長と相談しながら、日程を早めに下ろしていきたいと思いたいますし、決まりましたら、日程確保のお願いということで、ご連絡を差し上げたいと思いたいますのでよろしくお願ひします。



**5. その他**

- ・ 忠会長から、市議会 6 月定例会で正式に 9 月から副市長就任することとなり、審議会の議論や運営に支障とならないように当審議会の委員及び会長を辞任したい旨の説明あり。
- ・ これに基づき、事務局から次回審議会の開催は副会長名で招集すること、次回審議会での新しい会長の選任を行うこと、1 名欠員のまま審議会を進めることの 3 点の説明があり、委員に承認された。

**6. 閉会**

以上